

医師の働き方改革に向けた 労務管理上の課題・問題点とその解決策に迫る！

厚生労働省医政局に設置された「医師の働き方改革の推進に関する検討会」で「医師の時間外労働の上限規制に関して医事法制の措置を要する事項」が中間とりまとめとして示され、2024年までに各医療機関が事前に準備すべき内容が見えてきた。上限規制に対応するためには、各医療機関は何をどう変えるべきなのか？医療機関の訴訟に特に詳しい「法律の専門家」と医療機関の内情に詳しい「労務管理の専門家」が、それぞれの視点から解決策に迫る初めてのコラボレーション。

今回のテーマは、「医師の宿日直」

医師の長時間労働の要因の一つである「医師の宿日直」の実態およびその課題・問題点や司法上の判断基準を踏まえて、それぞれの視点から解決策に迫る。

主な内容

- ・「医師の働き方改革」推進の課題・問題点（宿日直）
- ・宿日直に関する病院の実情
- ・社労士が考える対策
- ・宿日直に関する法解釈と判例
- ・弁護士が考える対策

★講師紹介★

渡邊 健司氏（弁護士法人愛知総合法律事務所 弁護士）

2年間大学病院に出向し、医療の現場での法律実務に携わった経験がある、医療にかかわる法律問題に特に詳しい法律の専門家。

渡辺 徹氏（千葉大学 客員准教授）

800床を超える大病院で人事労務管理に携わった経験がある、医師の労務管理に詳しい社会保険労務士。

開催方式：オンライン（zoom）

開催日時：2021年5月22日（土） 13:00～15:00

参加費：一般 4,000円（税込） 医療経営士 3,000円（税込）

共催：株式会社日本医療企画 中部支社・キャリア・イノベーション愛知

後援：日本医療経営実践協会 東海支部

お問合せ：株式会社日本医療企画 中部支社 担当：吉野（よしの） 052-209-5451

お申込み：<https://jmp-iryokeiei.peatix.com/>